

平成29年度当初予算編成公表事業に対するご意見等と担当課の対応・考え方

事業名 (担当課)	事業の目的、効果及び事業内容	平成29年度 当初予算額	市民から寄せられた ご意見・ご感想	担当課の対応・考え方
1 平和推進事業 (行政管理課)	<p>〔目的・効果〕 平和都市宣言後、30年が経過し、あらためて平和の大切さ、命の尊さを考えるため、平和の連鎖を広げる取組みを推進するもの</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平和祈念式典（8月15日、あがたの森公園）</li> <li>2 広島平和記念式典参加事業（8月5～7日、中学2年生44名）</li> <li>3 小中学生平和ポスター展（10月下旬、約350点）</li> <li>4 松本ユース平和ネットワーク事業（大学生による平和交流、平和の灯モニュメントを活用した事業の企画等）</li> <li>5 親子平和教室（7～9月、小学4～6年生親子による平和学習等）</li> <li>6 平和推進活動補助事業（平和活動補助、上限5万円、補助率2分の1）</li> <li>7 平和パンフレット配布事業（市内戦争遺跡等を紹介、小6配布）</li> </ol>	722万円	<p>平和活動の勉強予算を税金から支出するのであれば、子どもたちに作文書かせることよりも、もっと「平和」に関する実践的な活動に対して支援する形を取った方が良いのではないかと。</p>	<p>戦後71年が経過して戦争体験者が減少する中、戦争の記憶の風化が懸念されています。</p> <p>松本市は、平和都市宣言に掲げる「核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現」を目指して、子どもや若者から高齢者まで、戦争を知らない幅広い世代に対して、「平和の大切さ」や「命の尊さ」、「戦争の悲惨さ」を考えていただくため、平和事業を推進しています。</p>
2 公共施設再配置計画 策定事業 (契約管財課)	<p>〔目的・効果〕 市が所有する多種多様な公共施設について、これからますます進展する超少子高齢型人口減少社会に対応できるように、長期的視点をもって更新・統合を進めるもの</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 再配置計画策定支援業務委託</li> <li>2 再配置計画検討委員会（外部委員）設置</li> <li>3 計画内容の市民周知</li> <li>4 公共施設再配置計画策定</li> </ol>	943万円	<p>市役所には行政改革の担当部署もあるのだから、検討委員会等で施設の廃止や統合について決めるのではなく、市職員が分析し、計画案を作成して形にするべきではないかと。</p>	<p>超少子高齢型人口減少社会が進展する中、市が所有する公共施設を将来にわたり安心・安全に維持管理していくためには、施設の総量を減らす具体的な計画が必要です。行政自らの考えだけでなく、公共施設を利用する市民の声を計画に反映させるため、市民アンケートや外部委員からの意見を徴収する予定です。</p> <p>施設の統合・廃止については、まず施設を管理する部局が自ら、利用者数、運営コスト等の数値から客観的な分析を行い、行政改革担当と管財担当が合同で、課題等のヒアリング調査を実施し、計画案を作成。その案をもとに、外部有識者による検討委員会でご協議いただくこととしており、その委員会は行政改革の推進を調査審議する「行政改革推進委員会」の部会として設置予定です。</p>
3 地域づくりインター ンシップ戦略事業 (地域づくり課)	<p>〔目的・効果〕 松本大学と連携し、地元志向を持った若者が、大学での専門的な教育を受けながら、地域づくりセンターを中心とした現場で地域づくり活動を実践し、地域の活性化と地域づくりを担う人材育成を図るもの</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 若者が地域において地区公民館活動や地域資源を活かした地域づくり活動等を実践</li> <li>2 松本大学は、地域づくりに係る専門教育等を行い、若者の活動を支援</li> <li>3 平成29年度は、12人の若者が活動予定</li> </ol>	3,451万円	<p>松本大学だけではなく、信州大学等、もっと幅広い連携により、地域づくりに携わる人材を育成する必要があるのではないかと。</p>	<p>この事業に参加する若者は、インターンシッププログラム修了後も、松本市に引き続き定着し、地域の活動に積極的に参加するという地元志向と、学生時代に松本市をフィールドにして活動してきたという実績があることを重視しています。</p> <p>また、この事業は、地元の大学として地域づくりに取り組んでいる松本大学と連携することにより目的が達成できると考えたため、人材育成プログラムを作成しています。</p> <p>信州大学とは、地域づくり研究連絡会などの事業で連携しています。今後は、松本大学だけでなく、目的や方向性が一致して協力できる事業を研究し、他大学も含めて様々な連携を図りたいと考えています。</p>
4 三世帯同居推進事業 (住宅課)	<p>〔目的・効果〕 家族が同居または近居するための住宅リフォーム費用、住宅取得費用及び引越し等の費用の一部を支援することにより、三世帯で子育てや介護などを支え合う多世代同居・近居のきっかけづくりを推進し、豊かで持続可能なまちづくりを目指すもの</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 三世帯家族奨励補助金</li> <li>2 住宅リフォーム補助金</li> <li>3 住宅取得補助金</li> </ol>	1,300万円	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 対象がないと補助できないと思う。どれだけマーケット調査をしているのか。</li> <li>2 住宅リフォーム補助金も、耐震関係の予算がある建築指導課に合算した方がいいのではないかと。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 マーケット調査は特に実施していません。対象者数については、先進地自治体を調査し、各自自治体の実績から本市の予定件数等を推定しています。</li> <li>2 この事業は、新たに三世帯で同居・近居するための家族の支援に特化した補助金であり、耐震化事業などとは当面別の事業とすることで、違いを明確化するものです。</li> </ol>
5 小中学校吹奏楽器 購入事業 (学校教育課)	<p>〔目的・効果〕 本市はセイジ・オザワ松本フェスティバルの開催地であり、児童生徒の音楽に対する関心が高く、小中学校の課外活動各種大会においても優秀な成績を収めている。そうした中、小中学校において、壊れていて使えない楽器や数が不足している楽器があるため、計画的に購入することにより「楽都松本」として音楽教育環境の充実を図るもの</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小中学校において不足している吹奏楽器を計画的に購入</li> </ol>	658万円	<p>セイジ・オザワ松本フェスティバルだけではなく、松本には様々なジャンルの音楽やその他芸術に関して発信する個人や企業がある。楽都・松本の応援の仕方も様々な形があっていいのではないかと。</p>	<p>ご意見のとおり、楽都としているいろいろな音楽の要素があると考えます。その中で、この事業は、学校での吹奏楽系のクラブ活動で使用する楽器について、一定の基準により、一般的に必要なとされる楽器の種類や数量を整えることで、音楽活動を志す小中学生のさらなる活躍・成長の醸成を図るものです。</p>